

第4期米沢市水道事業中期経営計画

平成29年度～平成33年度

米沢市上下水道部

目次

1	計画策定の趣旨	1
2	基本事項	1
	(1) 計画の位置づけ	1
	(2) 計画の期間	1
	(3) 事業運営の基本方針	1
3	主要事業計画	2
	(1) 事業の体系	2
	(2) 具体的取組の概要	3
4	中期財政収支計画	7
	(1) 水需要予測	7
	(2) 収益的収支	7
	(3) 資本的収支	8
	(4) 設備投資計画	8
	(5) 企業債残高	9
	(6) 中期指標	9
5	目標達成の評価等	9
	(1) 公表時期	9
	(2) 公表方法	9
	(3) 公表内容	9
	(4) 第3期計画の達成状況	10

1 計画策定の趣旨

本市の水道事業は、昭和27年度から8次にわたる拡張事業を行ってきましたが、第7次拡張事業（昭和63年度まで）までに布設された送配水管や配水池などの更新が必要な時期を迎えます。

一方、収入面においては、人口減少や節水機器普及などにより水需要の減少が続き、料金収入の増加は期待できない状況です。

このような厳しい経営環境の中、平成24年3月に策定した「第3期米沢市水道事業中期経営計画」に基づき、健全経営に向けて取り組んでいますが、引き続き効率的で安定した経営を継続していくため、「第4期米沢市水道事業中期経営計画」を策定するものです。

2 基本事項

(1) 計画の位置づけ

中期経営計画は、本市の総合計画である「米沢市まちづくり総合計画」（平成28年度～平成37年度）を踏まえ策定した水道事業の中・長期計画となる「米沢市新水道事業ビジョン」（平成29年度～平成38年度）の実施計画として位置付けます。

(2) 計画の期間

「米沢市新水道事業ビジョン」の計画期間の前期部分である平成29年度から平成33年度までの5年間とします。

(3) 事業運営の基本方針

- ア 「安全」すべてのお客さまに安全でおいしい水道水を供給する水道
- イ 「強靱」自然災害等による被災を最小限にとどめ、被災した場合であっても、迅速に復旧できるしなやかな水道
- ウ 「持続」給水人口や給水量が減少した状況においても、健全かつ安定的な事業運営が可能な水道

3 主要事業計画

(1) 事業の体系

	基本施策	具体的取組
安全	①水質管理体制の強化	ア 水安全計画の策定 イ 水質検査計画の策定・公表
	②良質な水の追求	ア 老朽管更新 イ 鉛製給水管交換 ウ 貯水槽水道設置者への指導・助言
	③自己水源(地下水)の保全	ア 自己水源の点検・整備
強靱	④管路の計画的更新(耐震化)	ア 重要管路の耐震化
	⑤施設の計画的更新(耐震化)	ア アセットマネジメントの実施 イ 水道施設の耐震性評価・耐震化計画の策定 ウ 舘山配水池の更新
	⑥応急体制の強化	ア 各種マニュアルの整備(見直し) イ マニュアルに沿った訓練の実施
持続	⑦施設規模の適正化	ア 配水計画の見直し イ 舘山配水区受水施設整備
	⑧事業経営の効率化	ア 民間委託の推進 イ 簡易水道事業経営のあり方の検討 ウ 広域化の調査・研究
	⑨職員研修の充実	ア 各種研修への参加 イ 指定給水工事事業者の研修の実施
	⑩水道料金の適正化	ア 適正な水道料金の算定 イ 料金体系の検討
	⑪料金収納率の向上	ア 債権管理の強化
	⑫お客さまサービスの充実	ア インターネットによる各種手続きの検討・導入 イ 広報・ホームページによる情報提供 ウ 水道事業独自の広報紙の発行 エ 水道事業経営懇談会の開催 オ 水道施設見学会の実施 カ 市主催イベント出展等による水道事業のPR
	⑬水資源の有効利用	ア 漏水調査 イ 漏水修繕
	⑭環境対策の推進	ア 浄水発生土の有効利用 イ 建設発生土のリサイクル ウ 省エネ行動の実践

(2) 具体的取組の概要

◇ 安全 ～安全でおいしい水道水の供給をめざして～			
①水質管理体制の強化			
事業名	事業概要	新規 継続	実施予定 時期
ア 水安全計画の策定	信頼性(安全性)の高い水道水を供給するため水系ごとに水安全計画を策定します。	新規	H29～31
イ 水質検査計画の策定・公表	毎年度水質検査計画を策定し公表するとともに、水質検査結果も毎月公表します。	継続	H29～
②良質な水の追求			
事業名	事業概要	新規 継続	実施予定 時期
ア 老朽管更新	老朽化した普通铸铁管を耐震管に布設替えします。	継続	H29～32
イ 鉛製給水管交換	宅地内の鉛製給水管を新しい給水管に交換します。	継続	H29～
ウ 貯水槽水道設置者への指導・助言	安全な水が給水されるよう、貯水槽水道の設置者に対し指導・助言を行います。	継続	H29～
③自己水源(地下水)の保全			
事業名	事業概要	新規 継続	実施予定 時期
ア 自己水源の点検・整備	非常用水源として、成島及び南原の地下水源の点検・整備を行います。	継続	H29～

◇ 強 靱 ～強靱で安心できる水道をめざして～			
④管路の計画的更新(耐震化)			
事業名	事業概要	新規 継続	実施予定 時期
ア 重要管路の耐震化	重要管路耐震化計画(米沢市地域防災計画に基づいた、避難所・病院等への重要管路である送水管、配水本管及び配水支管の耐震化計画)に基づき、配水管の耐震化を図ります。	新規	H29～

⑤施設の計画的更新（耐震化）			
事業名	事業概要	新規 継続	実施予定 時期
ア アセットマネジメントの実施	更新需要と財政状況を勘案し、老朽施設（管路を含む。）の計画的な更新を図ります。	継続	H29～
イ 水道施設の耐震性評価・耐震化計画の策定	配水池など水道施設の耐震診断を行い、耐震化計画を策定し、耐震化を図ります。	新規	H29～
ウ 館山配水池の更新	老朽化した館山配水池を更新します。 （※⑦イ館山配水区受水施設整備に合わせて更新します。）	新規	H32～33
⑥応急体制の強化			
事業名	事業概要	新規 継続	実施予定 時期
ア 各種マニュアルの整備（見直し）	水質汚染事故、地震、濁水等に備え、対応マニュアルを随時見直します。	継続	H29～
イ マニュアルに沿った訓練の実施	災害時に適切な応急復旧・給水を行うため各種マニュアルに沿った訓練を実施します。	継続	H29～

◇ 持 続 ～健全な水道経営をめざして～			
⑦施設規模の適正化			
事業名	事業概要	新規 継続	実施予定 時期
ア 配水計画の見直し	老朽化した館山浄水場を廃止し県水からの受水を増量することに伴い、配水計画を見直します。	新規	H29
イ 館山配水区受水施設整備	県笹野浄水場から館山配水区への受水施設を整備します。	新規	H29～33
⑧事業経営の効率化			
事業名	事業概要	新規 継続	実施予定 時期
ア 民間委託の推進	水道施設運転管理業務や水道料金等収納業務の民間委託を継続するほか、民間委託の対象となる業務の拡大や見直しを行	継続	H29～

	います。		
イ 簡易水道事業経営のあり方の検討	独立採算が難しい白布高湯簡易水道事業及び板谷簡易水道事業の経営のあり方を検討します。	新規	H29～
ウ 広域化の調査・研究	水道事業の広域化について調査研究を行います。	継続	H29～
⑨職員研修の充実			
事業名	事業概要	新規 継続	実施予定 時期
ア 各種研修への参加	水道事業における専門的知識や技術の習得のため各種研修会に参加します。	継続	H29～
イ 指定給水装置工事事業者の研修の実施	本市指定給水装置工事事業者を対象とした研修会を実施し、レベルアップを図ります。	継続	H29～
⑩水道料金の適正化			
事業名	事業概要	新規 継続	実施予定 時期
ア 適正な水道料金の算定	平成31年度以降の上水道料金について新たな料金算定期間を設定し、事業運営に見合った料金を算定します。	継続	H30
イ 料金体系の検討	現在採用している逦増型料金体系を検証し、今後の料金体系について検討します。	新規	H29～
⑪料金収納率の向上			
事業名	事業概要	新規 継続	実施予定 時期
ア 債権管理の強化	収納率の向上を図るため、債権管理を適切に行います。	継続	H29～
⑫お客さまサービスの充実			
事業名	事業概要	新規 継続	実施予定 時期
ア インターネットによる各種手続きの導入	使用開始（開栓）や使用中止（閉栓）などの申し込みをインターネットで行うことができるよう検討し、導入します。	新規	H29～
イ 広報・ホームページによる情報提供	水道事業に係るさまざまな情報を広報よねざわやホームページを活用して積極的に情報の提供を行います。	継続	H29～
ウ 水道事業独自の広報紙の発行	お客さまに水道事業をより理解していただくため、水道事業独自の広報紙を発行	新規	H29～

	します。		
エ 水道事業経営懇談会の開催	お客さまの意見、要望を事業運営に反映するため、水道事業経営懇談会を開催します。	継続	H29～
オ 水道施設見学会の実施	全国水道週間に合わせ、市内水道施設の見学会を実施します。	継続	H29～
カ イベント出展等によるPR	水道事業のPRのため、市主催のイベントに出展します。	継続	H29～
⑬水資源の有効利用			
事業名	事業概要	新規 継続	実施予定 時期
ア 漏水調査	毎年度計画的に配水管、給水管の漏水調査を実施します。	継続	H29～
イ 漏水修繕	漏水を発見したら迅速に修繕を行います。	継続	H29～
⑭環境対策の推進			
事業名	事業概要	新規 継続	実施予定 時期
ア 浄水発生土の有効利用	浄水過程で生じる汚泥(浄水発生土)の有効利用を図ります。	継続	H29～
イ 建設発生土のリサイクル	水道工事における建設発生土のリサイクルに取り組みます。	継続	H29～
ウ 省エネ行動の実践	事務用品の再生品使用、休憩時間の消灯、室内温度の適正化などに取り組みます。	継続	H29～

4 中期財政収支計画

(1) 水需要予測

(単位：人、m³)

	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2	H 3 3
給水人口	80,925	80,749	80,571	80,394	79,825
年間総配水量	9,913,035	9,849,890	9,805,872	9,709,365	9,614,465
1日平均配水量	27,159	26,986	26,792	26,601	26,341

(2) 収益的収支

(単位：千円、税抜)

		H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2	H 3 3
収 入	1 営業収益	1,835,937	1,824,236	1,816,961	1,799,686	1,787,373
	(1) 料金収入	1,762,561	1,750,860	1,743,585	1,726,310	1,713,997
	(2) その他	73,376	73,376	73,376	73,376	73,376
	2 営業外収益	122,813	122,813	122,813	122,813	122,813
	(1) 補助金	1,252	1,252	1,252	1,252	1,252
	(2) 長期前受金戻入	114,261	114,261	114,261	114,261	114,261
	(3) その他	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300
	収入計	1,958,750	1,947,049	1,939,774	1,922,499	1,910,186
支 出	1 営業費用	1,591,097	1,585,950	1,585,897	1,588,987	1,865,274
	(1) 職員給与費	205,000	205,000	205,000	205,000	205,000
	(2) 経費	949,500	949,500	949,500	949,500	1,230,500
	(3) 減価償却費	436,597	431,450	431,397	434,487	429,774
	2 営業外費用	32,126	30,018	27,865	25,666	23,420
	(1) 支払利息	27,126	25,018	22,865	20,666	18,420
	(2) その他	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	支出計	1,623,223	1,615,968	1,613,762	1,614,653	1,888,694
経常損益	335,527	331,081	326,012	307,846	21,492	
特別損益	0	0	0	0	0	
当年度純利益	335,527	331,081	326,012	307,846	21,492	

※H33の支出1 営業費用(2) 経費には、館山浄水場の除却費を含む。

(3) 資本的収支

(単位：千円、税込)

		H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2	H 3 3
収 入	1 企業債	0	0	0	0	0
	2 他会計負担金	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
	3 国・県補助金	30,000	30,000	30,000	0	0
	4 その他	49,311	40,945	1,039,648	38,416	37,245
	収入計	80,311	71,945	1,070,648	39,416	38,245
支 出	1 建設改良費	481,201	597,000	977,000	1,388,000	1,790,000
	2 企業債償還金	103,491	105,598	107,751	109,950	112,196
	支出計	584,692	702,598	1,084,751	1,497,950	1,902,196
不足する額		504,381	630,653	14,103	1,458,534	1,863,951
内部留保資金残高		2,645,616	2,750,607	3,574,017	2,846,244	1,703,276

※H31の収入4その他には、投資（地方債）の満期償還（1,000百万円）を含む。

(4) 設備投資計画

(単位：千円、税込)

	事業名	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2	H 3 3
1	館山配水区受水施設整備事業	14,860	100,000	500,000	900,000	1,300,000
2	老朽管（铸铁管）更新事業	208,000	208,000	209,000	209,000	
3	重要施設耐震化事業	133,185	136,000	135,000	135,000	344,000
4	配水管布設・布設替事業	54,500	60,000	60,000	60,000	60,000
5	汚水管布設に伴う水道管移設事業	25,000	30,000	30,000	30,000	30,000
6	施設、機器・計器等整備事業	41,617	38,000	38,000	49,000	51,000
7	営業設備	4,039	25,000	5,000	5,000	5,000
計		481,201	597,000	977,000	1,388,000	1,790,000

(5) 企業債残高

(単位：千円)

区 分	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2	H 3 3
残 高	1,295,946	1,190,348	1,082,597	972,647	860,451

(6) 中期指標

(単位：%)

項 目	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2	H 3 3
有収率	87.70	88.00	88.30	88.60	88.90
総収支比率	120.67	120.49	120.20	119.07	101.14
営業収支比率	115.39	115.02	114.57	113.26	95.82
職員給与費対 料金収入比率	11.63	11.71	11.76	11.88	11.96
収納率	94.41	94.43	94.45	94.47	94.49

有収率：総配水量に対する料金徴収の対象となった水量の割合。高いほうがよい。

総収支比率：総費用が総収益によってどの程度賄われているかを示す。100%以上が望ましい。

営業収支比率：営業費用が営業収益によってどの程度賄われているかを示す。高いほどよい。

職員給与費対料金収入比率：料金収入に対する職員給与費の割合。低いほどよい。

収納率：使用された水量にかかる料金のうち、実際に収納された料金の割合。高いほどよい。

5 目標達成の評価等

(1) 公表時期

毎年度決算後 10月

(2) 公表方法

市ホームページで公表します。

(3) 公表内容

中期経営計画の進捗状況及び目標（中期指標）の達成状況

(4) 第3期計画(平成24~27年度)の達成状況

中期指標(数値目標)

(単位:%)

項 目		年度	目 標	実 績	検 証
有収率	総配水量に対する料金徴収の対象となった水量の割合。高いほうがよい。	H24	84.3	85.1	各年度、目標を達成しました。今後も有収率向上に向け取り組んでいきます。
		H25	84.6	86.9	
		H26	84.9	85.8	
		H27	85.2	87.1	
総収支比率	総費用が総収益によってどの程度賄われているかを示す。100%以上が望ましい。	H24	111.43	124.82	平成26年度を除き目標を達成しました。 平成26年度は会計制度見直しに伴い支出が増えたため達成できませんでした。
		H25	113.53	124.50	
		H26	113.90	110.59	
		H27	113.19	123.83	
営業収支比率	営業費用が営業収益によってどの程度賄われているかを示す。高いほどよい。	H24	115.56	128.54	各年度、目標を達成しました。
		H25	116.56	128.35	
		H26	116.67	120.21	
		H27	115.72	118.52	
職員給与費対料金収入比率	料金収入に対する職員給与費の割合。低いほどよい。	H24	12.41	12.19	各年度、目標を達成しました。
		H25	12.52	11.82	
		H26	12.15	11.86	
		H27	12.26	10.74	
収納率	使用された水量にかかる料金のうち、実際に収納された料金の割合。高いほどよい。	H24	93.38	93.52	各年度、目標を達成しました。今後も収納率向上に努めます。
		H25	93.68	94.06	
		H26	93.93	94.07	
		H27	94.14	94.37	